

1. 当該診療科の特徴	<p>当院救命救急センターの現在の運営形態は救命救急センターの機能とER型救急の両立した機能で運営しております。当院センターは、いわゆる救命救急センターとして重症患者を受け入れるだけでなく、小児から高齢者まで様々な病気やけがの患者を24時間365日受け入れております。</p> <p>また、当センターは救急専任医が中心となって運営しており、各科の専門医と共同で治療に当たっております。このため、各科専門医は24時間のオンコール体制で待機しており、あらゆる疾患の救急患者に対して十分かつ高度な専門的医療を提供いたします。</p> <p>このような運営形態でまず初期研修では、臨床医研修として必要なプライマリ・ケアにおける基本的な知識や、手技を包括した診療能力を修得することを目標としています。</p> <p>卒後臨床研修を修了し、救急医を目指される医師だけではなく専門科へ進む前に救急研修を積みたいと希望する医師を含め出身大学にこだわらず広く医師を募集しております。</p>														
2. プログラムの特徴	<p>「日本救急医学会専門医取得コース」と「初期対応能力充実コース」の2つのコースがあります。また、当院で日本救急医学会指導医取得も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本救急医学会専門医取得コース <ol style="list-style-type: none"> 1) 救急医療全般を行う救急専門医の養成としてER型救急医やダメージコントロール手術など外傷専門医としてのトレーニングや集中治療専門型救急医の専門的トレーニングを目指します。 2) 希望があれば、近隣独立型救命センターに短期出張が可能。 また、院内の他科による研修も可能。 2. 初期対応能力充実コース 将来救急専門医を目指すわけではないが、プライマリ・ケアにおける初期対応能力をもう少し充実させたいと考える研修医のために準備した1年のプログラムです。救急外来で救急患者診療とICUにおける重症患者管理や外傷手術などを行います。 														
3. 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本救急医学会専門医取得コース 日本救急医学会専門医資格の取得を目標とします。 (日本救急医学会専門医取得だけではなく内科系、外科系を院内でローテーションすることにより集中治療医や外傷専門医取得コースなどもあります)将来のサブスペシャリティーの専門医(外科専門医、内科認定医など)取得に関しての研修も可能。 2) 初期対応能力充実コース 専門各科へ出向しても通用する幅広い臨床能力の修得を目指します。 														
4. 研修期間	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本救急医学会専門医取得コース 3年～5年 2) 初期対応能力充実コース 1年間 														
5. 取得が可能な資格等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学会名</th> <th style="text-align: center;">取得可能資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">日本救急医学会</td> <td style="text-align: center;">日本救急医学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本外科学会</td> <td style="text-align: center;">日本外科学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本内科学会</td> <td style="text-align: center;">日本内科学会認定内科医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本外傷学会</td> <td style="text-align: center;">日本外傷学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本IVR学会</td> <td style="text-align: center;">IVR専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本集中治療学会</td> <td style="text-align: center;">集中治療専門医</td> </tr> </tbody> </table>	学会名	取得可能資格	日本救急医学会	日本救急医学会専門医	日本外科学会	日本外科学会専門医	日本内科学会	日本内科学会認定内科医	日本外傷学会	日本外傷学会専門医	日本IVR学会	IVR専門医	日本集中治療学会	集中治療専門医
学会名	取得可能資格														
日本救急医学会	日本救急医学会専門医														
日本外科学会	日本外科学会専門医														
日本内科学会	日本内科学会認定内科医														
日本外傷学会	日本外傷学会専門医														
日本IVR学会	IVR専門医														
日本集中治療学会	集中治療専門医														
6. 指導体制	<p>現在救急科医局員数 常勤医5名 後期修練医4名 救急指導医2名が在籍。 上級医が後期研修医の指導を担当する。 1年に2回以上の学会発表、在籍中に2編以上の論文発表</p>														
7. その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本救急医学会救急科指導医指導施設 2. 希望があれば、近隣独立型救命センターに短期出張が可能。 また、院内の他科による研修も可能。 														

救命救急センター

プログラムの特色と研修医へのメッセージ

当院救命救急センターの現在の運営形態は救命センターの機能と ER 型救急の両立した機能で運営しております。当センターは、いわゆる救命救急センターとして重症患者を受け入れるだけでなく、小児から高齢者まで様々な病気やけがの患者を 24 時間 365 日受け入れております。また当センターは救急専任医が中心となって運営しており、各科の専門医と共同で治療に当たっております。このため、各科専門医は 24 時間のオンコール体制で待機しており、あらゆる疾患の救急患者に対して十分かつ高度な専門的医療を提供いたします。このような運営形態でまず初期研修では、臨床医として必要なプライマリーケアにおける基本的な知識や手技を包括した診療能力を修得することを目標としています。卒後臨床研修を終了し、救急医を目指される医師だけではなく専門科へ進む前に救急研修を積みたいと希望する医師を含め出身大学にこだわらず広く医師を募集しております。

これらを基盤として後期研修では、1) 日本救急医学会専門医取得コース 2) 初期対応能力充実コースを設けます。

1) 日本救急医学会専門医取得コース

日本救急医学会専門医資格の取得を目標とし将来救急専門医を志す医師

1. 救急医療全般を行う救急専門医の養成として ER 型救急医やダメージコントロール手術など外傷専門医としてのトレーニングや集中治療専門型救急医の専門的トレーニングを目指します。
2. 希望があれば近隣独立型救命センターに短期出張が可能（過去の専攻医はすべて近隣の独立型救命センターにて研修をさせていただいた。）また院内の他科による研修も可能

2) 初期対応能力充実コース

将来救急専門医を目指すわけではないが、プライマリ・ケアにおける初期対応能力をもう少し充実させたいと考える研修医のために準備した 1 年のプログラムです。救急外来で救急患者診療と ICU における重症患者管理や外傷手術などを行います。

1. 専門各科へ出向しても通用する幅広い臨床能力の修得を目指します。
2. 地域医療への貢献などいつでも独立し医院開業ができるような総合内科的な診療能力の修得を目指します。